

第72回日本東洋医学会学術総会スポンサードセミナー
第28回 東洋医学シンポジウム

Kracie

漢方エクス製剤の 上手な使い方

～困ったときの この一手～

2022年

5月27日(金)

13:00～15:00

WEB開催

事後配信:6月末までの公開を予定しています

本セミナーのご視聴には学術講演会への参加登録が必要です。

参加登録方法につきましては、学術講演会のWEBサイトをご確認ください。

<https://c-work.co.jp/72jsom/>

オーガナイザー

木村 容子 先生

東京女子医科大学附属東洋医学研究所

シンポジスト

矢内原 純子 先生
純子ウィメンズクリニック自由が丘

中村 綾子 先生
女性医療クリニックLUNA
ネクストステージ

佐々木 和江 先生
久米川病院 皮膚科

新谷 朋子 先生
とも耳鼻科クリニック

岸本 圭永子 先生
けいクリニック

陣内 厚子 先生
東京女子医科大学附属東洋医学研究所

共催 第72回日本東洋医学会学術総会／クラシエ 薬品株式会社

第72回日本東洋医学会学術総会スポンサードセミナー
第28回 東洋医学シンポジウム



漢方エキス製剤の上手な使い方 ～困ったときの この一手～

本シンポジウムは、寺澤捷年先生、後山尚久先生と歴代コーディネーターが続けてこられた「こんな時には漢方を」の基本コンセプトを継承しつつ、「漢方エキス製剤の上手な使い方 ～困ったときのこの一手～」と題し、新たな目線で現代医療へエキス漢方を取り入れる実践的な方法を、エキスパートの先生方によるディスカッションを通してご提案したいと考えております。

今回は、婦人科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻咽喉科、消化器内科、漢方診療科の先生方にシンポジストとしてご参加いただき、幅広い分野にわたる漢方治療の実際についてご紹介いただきます。

第Ⅰ部では、西洋医学だけでは十分に把握できなかった病態や治療に難渋していた疾患に対し、漢方エキス製剤を併用したことによって、より優れた効果や高い満足度が得られた症例をご提示いただき、日常診療における漢方療法の取り入れ方、文字通りエキス製剤の上手な使い方について話し合います。

第Ⅱ部では、頻用処方の中から葛根湯と当帰芍薬散を取り上げ、各科での使用経験を通して現代の“口訣”を考えてみたいと思います。この2処方は、コロナ禍における様々な不調にも各診療科で広く用いられており、今後ますます西洋医学との融合が注目され有効性が増していくと予想される処方です。各先生方が患者さんを診療するときに頭の中でめぐらせている考えを、できる限り具現化し皆様にわかりやすくお示しすることによって、明日からの臨床に少しでもお役に立てるシンポジウムを目指したいと思います。

オーガナイザー 木村容子

